

交流の軌跡

交流の起源

平成3年8月、当時北海道大学の学生（以下、北大生）であった長谷川岳氏が高知に在学中の兄を訪ねる。その時に、よさこい鳴子踊りを見て感動し、このエネルギーを踊りを札幌で披露したいと考えた。

YOSAKOIソーラン祭り誕生

周囲の学生を巻き込んで120名の学生実行委員会を組織し、平成4年に第1回YOSAKOIソーラン祭りが開催された。同祭りには、10チーム約千人が参加した。

積丹町との出会い

この年、実行委員会のメンバー120名が自分たちも踊りたいと、本場高知のよさこい祭りに参加することになった。

多額の費用を要するため、高知県北海道事務所を通じて格安の宿泊施設を探した。四方八方手を尽くしたが、受け入れ先がなく、同事務所の土佐山田町出身の職員が、旧土佐山田町に受け入れを打診した。

土佐山田町は受け入れを了承し、受け入れは、町内の若者グループのメンバーSTEP UP、コミュニティ21が中心となり、役場職員等に対応し、公共施設を宿泊先として提供した。

土佐山田まつりへの参加

この年、土佐山田まつりへ北ガス&学生合同チームが参加、平成6年にはヤーレンソーラン積丹町、平岸天神&学生合同チームが参加した。

※積丹町チームは同祭りへ、平成18年まで連続出場。（平成22年に参加）

広がる交流の輪

平成5年3月に、積丹町の町に灯かりをとまず会から雪だるま23個が旧土佐山田町立平山小学校に贈られ、翌年、積丹町立余別小学校5・6年生が平山小学校を訪問し、親子キャンプで交流した。両校は互いに交流を深め、平成9年3月に姉妹校となった。

合同チームの誕生

土佐山田町チームは第2回YOSAKOIソーラン祭りから同祭りに出場を続け、平成7年の第4回YOSAKOIソーラン祭り、平成7年の第4回YOSAKOIソーラン祭りで、両町の合同チームヤーレンソーラン積丹町&土佐山田町を結成し、出場。同祭りの、北海道知事賞を受賞した。

物産交流

平成9年には、商工会と役場職員が、積丹町の物産イベントおらが名物積丹まんぶく祭り（現II積丹ソーラン味覚祭り）に参加した。この年、積丹町からは14名が刃物まつりに参加した。

毎年お互いに、祭りへの参加が続いており、積丹町からは、刃物まつりに、JRCコンテナ1台分の物産が送られるようになり、同

宿泊した北大生の中には、第1回YOSAKOIソーラン祭りの出場チームヤーレンソーラン積丹町のメンバー2名（積丹町職員）が同行しており、土佐山田町の若者と意気投合。積丹町との交流が始まった。

北の大地へ

翌年の第2回YOSAKOIソーラン祭りには、山田太鼓伝承会をはじめ総勢55名が参加し、積丹町を訪問した。



写真 第17回YOSAKOIソーラン祭り参加の合同チーム

祭りの、目玉のひとつとなっている。

姉妹都市締結

有志による交流事業は継続的に実施され、交流の歴史が積み重なるたびに交流の輪も広がり、両町の姉妹都市提携への気運も高まった。平成14年6月、姉妹都市締結が積丹町でなされ、同10月に、土佐山田町役場議場で姉妹都市締結調印披露式典が行われた。

連続出場の危機

お互いの財政状況を踏まえ、平成18年のYOSAKOIソーラン祭り参加を最後に、合同チームが解散されることになった。

この解散に対し、YOSAKOIソーラン祭りの主催者から、「香美市と積丹町はYOSAKOIソーラン祭りを通じて生まれた唯一の姉妹都市であり、祭りの財産であるので、ぜひとも参加してほしい」と参加要請があった。この要請を受け、両市町は、これまでの合同チームの形態を改め、振り付け指導をボランティアで行うなど、経費を抑えて、平成19年は参加料免除の招待チームとして参加した。合同チームの連続出場は、とぎれることなく今年で17回となった。

交流の歩み

平成4年	よさこい祭りに参加する北海道チームを土佐山田町が受け入れた。
平成5年	その後、土佐山田町役場、農協、商工会等が積丹町を訪問。積丹町の町に灯かりをとまず会から平山小学校が雪だるまのプレゼントを受ける（平成7年・9年・10年にも受ける）。
平成6年	第2回YOSAKOIソーラン祭りに土佐山田町チームが初出場。土佐山田まつりに積丹町が初参加。土佐山田町姉妹都市・友好都市交流推進協議会が設立される。
平成7年	土佐山田町合併40周年記念式典にYOSAKOIソーラン祭り実行委員会が参加。
平成8年	余別小が平山小を訪問し、交流。積丹町・土佐山田町合同チームヤーレンソーラン積丹町&土佐山田町を編成し、YOSAKOIソーラン祭りに参加。北海道知事賞を受賞。
平成9年	積丹町の児童生徒と絵画等の交換をし、学習交流が行われる。平山小と余別小が姉妹校提携。YOSAKOIソーラン祭りの積丹町前夜祭りに山田太鼓メンバーをはじめ土佐山田町45名が参加。平成18年まで続く。
平成10年	土佐山田町が積丹町のおらが名物積丹まんぶく祭りに初参加。積丹町が刃物まつりに初参加。YOSAKOIソーラン祭り、合同チームが北海道知事賞受賞。
平成11年	余別小の11名が平山小を訪問。季節の地場産品を土佐山田町から積丹町へプレゼント。
平成12年	平山小7名が余別小を訪問。積丹町前夜祭りで、積丹町地域間交流推進協議会と土佐山田町姉妹都市・友好都市交流推進協議会が姉妹協議会として提携。
平成13年	平山小7名が余別小を訪問し、98豪雨についての学習と料理実習。余別小が平山小を訪問。親子キャンプで交流。
平成14年	踊り衣装を新調。
平成17年	刃物まつり会場、積丹町の鯨場音頭保存会が踊り披露。
平成18年	余別小・平山小のビデオレター等の交換。
平成19年	姉妹都市締結。
平成20年	土佐山田町合併50周年記念式典に積丹町が参加。
平成23年	積丹町が参加。合同チーム解散。合同チーム復活。積丹町長が刃物まつりを訪問し、平山地区で交流会が開催される。積丹町で、姉妹都市盟約10周年記念行事が開催される。